

アサヒファシリティズとSDGs

2025年に開催される大阪・関西万博の開催目的にもなるなど、「SDGs」をめぐる国内外の企業の動きが活発化してきています。そこで、サステナブル社会の実現を目指す竹中グループの活動にも大きな意味を持つ「SDGs」について、掲載します。

アサヒファシリティズの活動

アサヒファシリティズの活動においても、SDGsに関連するものがあります。



環境保全への取り組み

建物管理における省エネルギー活動の積極的な提案・推進など、持続可能な社会の構築に貢献しています。

▶詳細はP19～P22へ



社会貢献活動

社会貢献活動を推進し、企業市民として社会の持続的な発展と充実に寄与していきます。

▶詳細はP23～P24へ



品質保証活動

安全で安心なサービスをお届けするために、品質保証活動に取り組んでいます。より良いサービスの提供ができるよう、お客様とのコミュニケーションを大切にしています。

▶詳細はP25～P26へ



安全・災害

「安全はすべての仕事に優先する」という考えのもと、安全向上への取り組みを進めるとともに、リスクの把握とそれに対処する体制を整えています。

▶詳細はP27～P28へ



人材育成・支援制度

「人が財産」の企業文化のもと、従業員一人ひとりが能力を最大限に発揮するとともに、充実した日々を過ごし豊かに暮らせるようワークライフバランスを実現していきます。

▶詳細はP29～P32へ



健全な組織基盤

社会の信頼と期待に応え、事業を継続的に営んでいくために、コーポレート・ガバナンスの充実に努めるとともに、コンプライアンスを最優先する組織・風土づくりの強化を進めています。

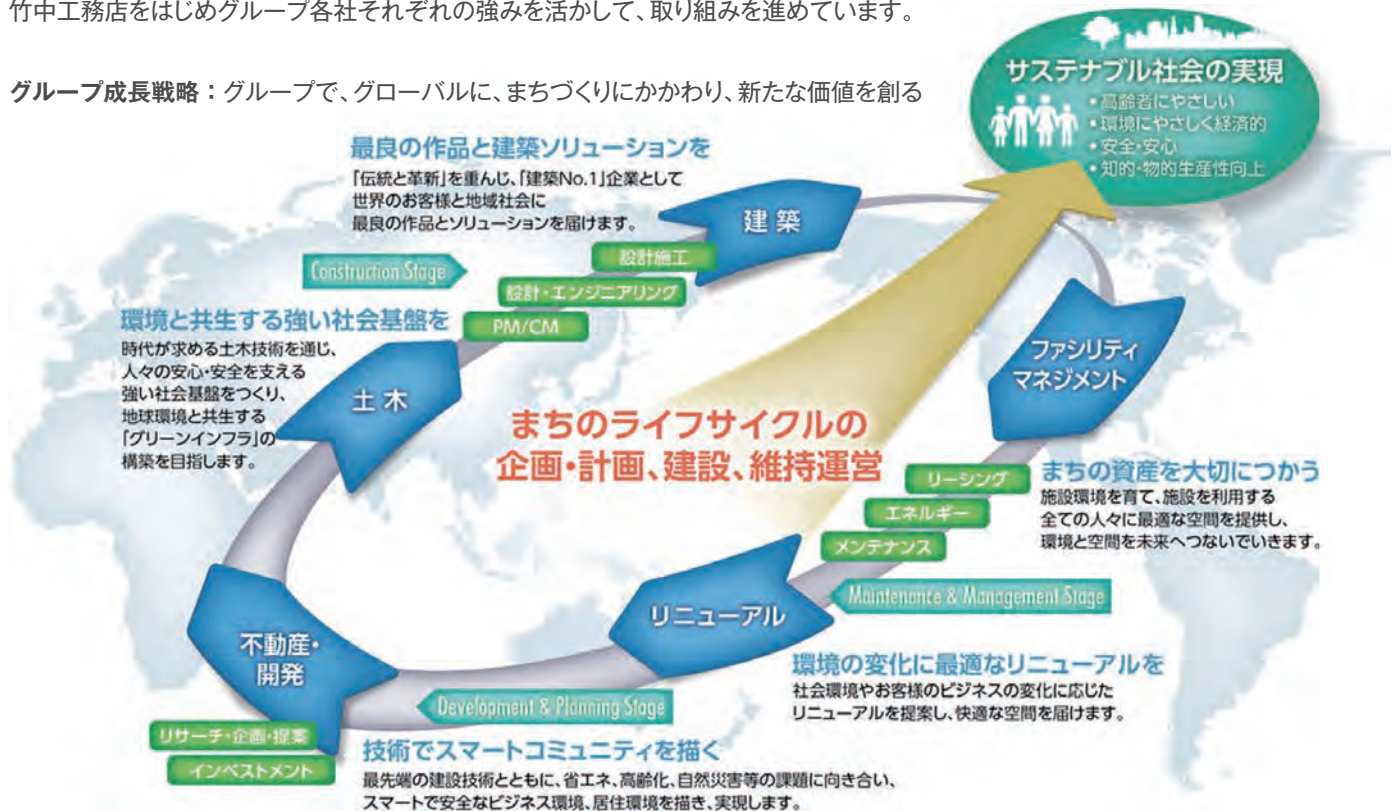
▶詳細はP33～P38へ



竹中グループとSDGs

竹中グループでは、グループCSRビジョンおよびグループ成長戦略を踏まえ、企業活動を通じて社会課題の解決に貢献することを目指しています。
竹中工務店をはじめグループ各社それぞれの強みを活かして、取り組みを進めています。

グループ成長戦略：グループで、グローバルに、まちづくりにかわり、新たな価値を創る



SDGsとは

「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。



SDGs17の目標

目標1	あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ	目標10	国内および国家間の不平等を是正する
目標2	飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する	目標11	都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする
目標3	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	目標12	持続可能な消費と生産のパターンを確保する
目標4	すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	目標13	気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
目標5	ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	目標14	海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
目標6	すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する	目標15	陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
目標7	すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	目標16	持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
目標8	すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク*を推進する	目標17	持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する
目標9	レジリエント(強靱)なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーション(技術革新)の拡大を図る		

※ディーセント・ワーク：働きがいのある人間らしい仕事